

# エコアクション21 環境活動レポート



株式会社 大 樹

＜平成 28 年度版＞

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

社 長	全 社 環境管理 責任者	松戸支店 環境管理 責任者	七尾支店 環境管理 責任者	作 成 2017. 04. 14

## 目 次

内 容	ページ
表紙	1
目次	2
I 章 事業活動の概要	2～5
II 章 環境方針	6
III 章 環境目標とその実績および主要な環境活動計画の内容	
1.今年度 EA21 主要な環境活動計画	7
2.次年度 EA21 主要な環境活動計画	8
IV 章 環境活動の取り組み結果の評価	
1.平成 28 年度の活動結果の評価	9
2.平成 28 年度の活動結果と過去 2 年間との比較	10～11
3.次年度の取組内容	12
V 章 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	12
VI 章 代表者による全体評価と見直しの結果	12

### I 章 事業活動の概要

1. 商号 株式会社 大樹 (DAIKI Co., Ltd.)
2. 代表者 代表取締役 稲浪 秀樹
3. 設立年月日 昭和 23 年 (1948 年) 6 月 1 日
4. 認 証 登 録 [本 社](#)  
対象事業所 〒939-0418  
富山県射水市布目沢 201 番地  
TEL 0766-53-1331  
FAX 0766-53-1330  
[松戸支店](#)  
〒270-2214  
千葉県松戸市松飛台 255 番地  
TEL 047-384-7791  
FAX 047-384-7796  
[七尾支店](#)  
〒926-0835  
石川県七尾市西三階町丙 19-1  
TEL 0767-57-0800  
FAX 0767-57-0801

5. 営業品目 (登録認証範囲)	包装資材、ラベル、文房具類の設計・製造・販売、 プラスチックフィルムのスリット加工、 文房具等の輸入に関する業務		
6. 資本金	4, 000万円		
7. 工場敷地	16, 300㎡		
8. 建物延べ床面積	8, 042㎡		
9. 機械設備	包材製袋機、スリッター機、文具製造機、 ラベル印刷機、その他関連機械		
10. 決算期	12月		
11. 沿革	昭和23年	6月	富山県高岡市京町に設立
	昭和37年	2月	東京都大田区に東京工場を新設
	昭和38年	8月	千葉県松戸市に東京支店を新設 東京工場を移転
	昭和47年	2月	本社を高岡市三女子に新築移転
	昭和55年	7月	松戸支店、工場を新築 軟包装衛生協議会認定工場認可取得 (登録番号 004)
	昭和57年	4月	文具部門へ進出
	昭和63年	9月	ラベル印刷部門へ進出
	平成 3年	4月	本社を射水市(旧大門町)に新築移転 軟包装衛生協議会認定工場認可取得 (登録番号 107)
	平成 7年	10月	シルク印刷部門へ進出
	平成10年	6月	創業50周年記念式典を挙
	平成11年	5月	松戸支店、工場を増改築
	平成13年	10月	ISO9001:2000認証取得 (登録番号 MIC00350)
	平成15年	8月	七尾支店を新築移転
	平成17年	2月	松戸支店、工場を増改築
	平成18年	9月	本社工場を改築
	平成19年	10月	エコアクション21認証取得 (登録番号 0001969)
	平成20年	6月	本社第2倉庫を新築

## 12. 事業規模

### < 全社 >

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
売上高	32億8千7百万円	30億6千9百万円	30億1千2百万円
従業員数	99名	99名	99名
床面積	8,042㎡	8,042㎡	8,042㎡

### < 本社 >

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
売上高	9億3千3百万円	8億8百万円	8億7千9百万円
従業員数	42名	42名	41名
床面積	3,978㎡	3,978㎡	3,978㎡

### < 七尾支店 >

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
売上高	6億8千万円	6億3千2百万円	5億6百万円
従業員数	7名	7名	7名
床面積	709㎡	709㎡	709㎡

### < 松戸支店 >

年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度
売上高	16億7千4百万円	16億2千9百万円	16億2千7百万円
従業員数	50名	50名	51名
床面積	3,355㎡	3,355㎡	3,355㎡

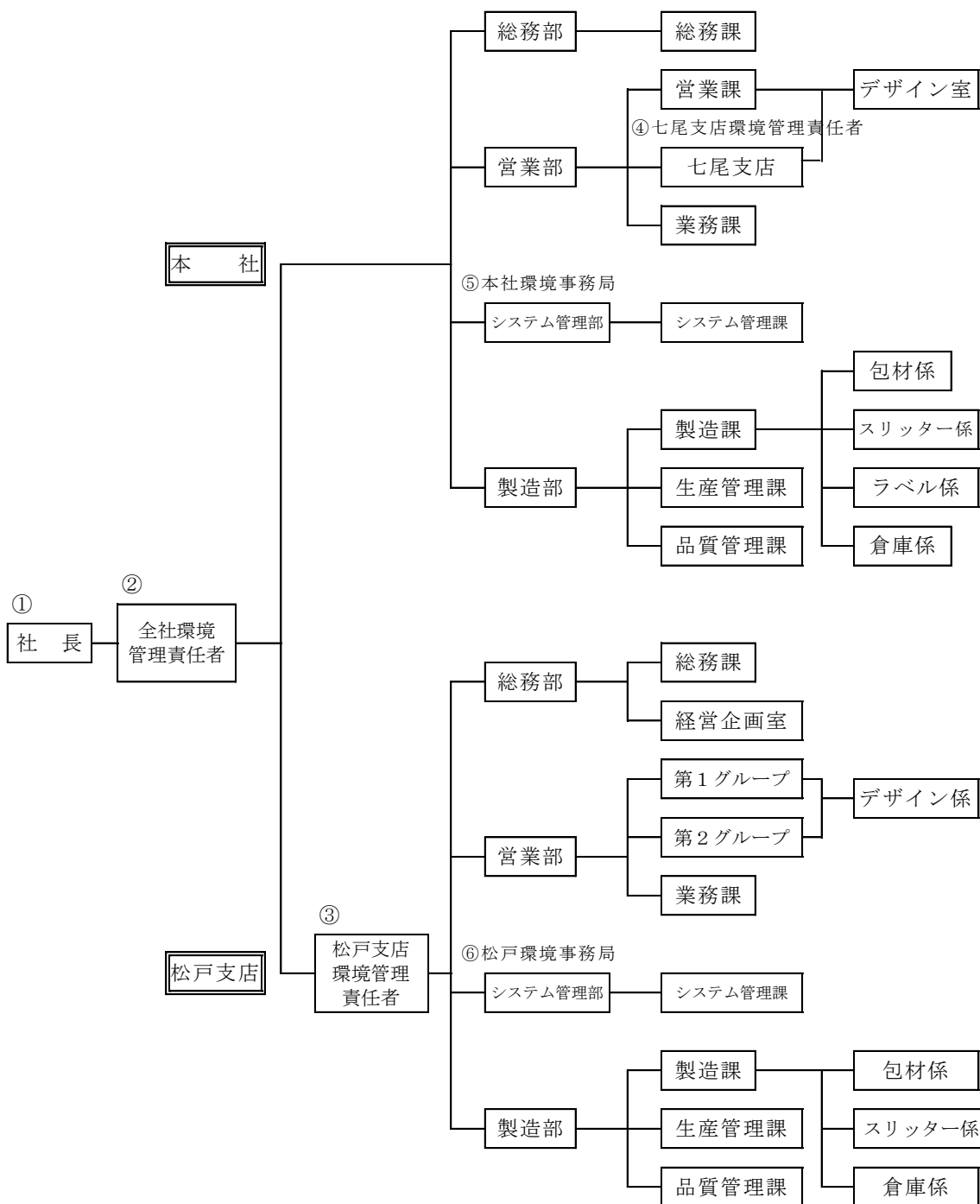
※1. 主要製品生産量を、重量(t)等の単位で把握することは、現時点では実務上困難である。

※2. 「活動規模当たり」の分析については、「売上高百万円当たり」を基準とする。

## 13. 環境管理責任者および連絡先

環境管理責任範囲	役職	氏名	連絡先
全社環境管理責任者 (本社環境管理責任者を兼任)	代表取締役 副社長	喜多 進	TEL 0766-53-1331 FAX 0766-53-1330
七尾支店環境管理責任者	七尾支店長	南 亘	TEL 0767-57-0800 FAX 0767-57-0801
松戸支店環境管理責任者	松戸支店取締役 役製造部長	日下 亨	TEL 047-384-7791 FAX 047-384-7796

付図-1 組織図



※ 「全社環境管理責任者」は、当社の環境管理システムの全てを統括する。  
 また、「七尾支店環境管理責任者」および「松戸支店環境管理責任者」は、  
 各々の事業所を管轄するとともに、「全社環境管理責任者」を補佐する。

## Ⅱ章 環境方針

# [E A 2 1 環 境 方 針]

## 基本理念

株式会社 大 樹 は、地球環境に思いやりを持ちながら、「包装資材、ラベル、文房具の製造販売およびスリット加工」という事業活動を健全に行うために、省資源、省エネルギー、廃棄物削減を目指して継続的改善を行い、「持続可能な循環型社会」の形成に貢献することに努めます。

なお、当社は、本社の他に松戸支店、七尾支店があり、これらを含めて「全社環境管理者」の統括のもと、環境管理システムの構築を目指します。

## 基本方針

当社は、「基本理念」に基づき、以下の方針を定めて、事業活動を推進します。

1. 事業活動によって生じる環境負荷の低減、および資源の有効活用に努め、特に次の項目に重点的に取り組みます。
  - (1) 温室効果ガス排出量（購入電力量と化石燃料使用量）の削減
  - (2) 廃棄物総排出量の削減
  - (3) 水資源投入量の削減
  - (4) グリーン商品購入の推進
  - (5) 社内起因不適合製品の削減
2. 環境に関する法規制を遵守します。
3. この「環境方針」は、当社で働くすべての社員に周知、徹底させるとともに、一般に公開します。

2006年10月 1日 制定

2016年 4月 1日 改定

株式会社 大 樹

代表取締役社長 稲浪秀樹

### Ⅲ章 環境目標とその実績および主要な環境活動計画の内容

#### 1. 今年度 EA21 主要な環境活動計画

## EA21 主要な環境活動計画 平成28年度

### 中期目標

平成28年 4月 1日

向こう3年間の全社での中期目標を平成27年度実績に対し3%削減とする。

活動規模	単位	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
購入電力	Kg-CO <sub>2</sub>	460,844	456,235	451,627	447,018
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	150.2	148.7	147.2	145.7
化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	104,989	103,939	102,889	101,839
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	34.2	33.9	33.5	33.2
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	565,833	560,175	554,516	548,858
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	184.37	182.53	180.68	178.84
廃棄物等総排出量	t	231.5	229.2	226.9	224.6
売上高当たり	t/百万円	0.075	0.074	0.074	0.073

※平成27年度本社電力の二酸化炭素排出係数0.63、松戸は0.53で計算しています。

全社環境管理責任者 専務取締役 喜多 進	
七尾支店環境管理責任者 七尾支店長 南 亘	
松戸支店環境管理責任者 取締役製造部長 日下 亨	

### 環境目標

#### (1) 温室効果ガス排出量(購入電力量と化石燃料使用量)の削減

目標値:平成27年度(売上高当たり)実績 184.37kg-co2/百万円 ⇒ 182.53kg-co2/百万円(1.0%削減)

環境目標を達成するための取り組み項目	時期	本社	七尾	松戸
① ウォームピズを実施し、暖房(電気)温度を22℃～24℃設定を徹底する。	冬期	○	○	○
② クールピズを実施し、冷房温度を26℃～28℃設定を徹底する。	夏期	○	○	○
③ 暖房の使用期間を設定する。(11月下旬～4月上旬) 冷房の使用期間を設定する。(6月～9月)	冬期 夏期	○	○	○
④ 全社員に、日常の運転でのエコドライブを啓蒙する。 (アイドリングストップ、急発進等を行わない)	通年	○	○	○

#### (2) 産業廃棄物総排出量の削減

目標値:平成27年度(売上高当たり)実績 0.075t/百万円 ⇒ 0.074t/百万円(1.0%削減)

① 再生可能廃棄物の分別収集を徹底し、産業廃棄物排出量の総量を削減する。(廃プラ、段ボールの分別の徹底)	通年	○	○	○
② コピーや印刷物は可能な限り使用済用紙の裏側を使い、紙の総使用量を削減する。	通年	○	○	○

#### (3) 水資源投入量の削減

目標値:平成27年度実績 1,342m<sup>3</sup> ⇒ 1,329m<sup>3</sup>(1.0%削減)

① 生活利用水は、垂れ流しを止め、こまめに止水する。	通年	○	○	○
----------------------------	----	---	---	---

#### (4) グリーン商品購入の推進

① コピー用紙、事務用品等グリーン商品の購入を推進する。	通年	○	○	○
------------------------------	----	---	---	---

#### (5) 社内起因不適合製品の削減

目標値:平成27年度実績78件(本社31件+松戸47件) ⇒ 70件(10.0%削減)

① 社内起因の不適合製品を削減すること。	通年	○	○	○
----------------------	----	---	---	---



## 2. 次年度 EA21 主要な環境活動計画

### EA21 主要な環境活動計画 平成29年度

#### 中期目標

平成29年 4月 1日

向こう3年間の全社での中期目標を平成27年度実績に対し3%削減とする。

活動規模	単位	平成27年	平成28年実績	平成29年	平成30年
購入電力	Kg-CO <sub>2</sub>	460,844	485,349	451,627	447,018
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	150.2	147.7	147.2	145.7
化石燃料	Kg-CO <sub>2</sub>	104,989	101,805	102,889	101,839
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	34.2	31.0	33.5	33.2
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	565,833	587,155	554,516	548,858
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	184.37	178.63	180.68	178.84
廃棄物等総排出量	t	231.5	261.9	226.9	224.6
売上高当たり	t/百万円	0.075	0.080	0.074	0.073

※平成27年度本社電力の二酸化炭素排出係数0.63、松戸は0.53で計算しています。

全社環境管理責任者 代表取締役副社長 喜多 進	
七尾支店環境管理責任者 七尾支店長 南 亘	
松戸支店環境管理責任者 取締役製造部長 日下 亨	

#### 環境目標

##### (1) 温室効果ガス排出量(購入電力量と化石燃料使用量)の削減

目標値:平成27年度(売上高当たり)実績 184.37kg-co2/百万円 ⇒ 180.69kg-co2/百万円(2.0%削減)

環境目標を達成するための取り組み項目	時期	本社	七尾	松戸
① ウォームビズを実施し、暖房(電気)温度を22℃～24℃設定を徹底する。	冬期	○	○	○
② クールビズを実施し、冷房温度を26℃～28℃設定を徹底する。	夏期	○	○	○
③ 暖房の使用期間を設定する。(11月下旬～4月上旬) 冷房の使用期間を設定する。(6月～9月)	冬期 夏期	○	○	○
④ 全社員に、日常の運転でのエコドライブを啓蒙する。 (アイドリングストップ、急発進等を行わない)	通年	○	○	○

##### (2) 産業廃棄物総排出量の削減

目標値:平成27年度(売上高当たり)実績 0.075t/百万円 ⇒ 0.074t/百万円(2.0%削減)

① 再生可能廃棄物の分別収集を徹底し、産業廃棄物排出量の総量を削減する。(廃プラ、段ボールの分別の徹底)	通年	○	○	○
② コピーや印刷物は可能な限り使用済用紙の裏側を使い、紙の総使用量を削減する。	通年	○	○	○

##### (3) 水資源投入量の削減

目標値:平成27年度実績 1,342m<sup>3</sup> ⇒ 1,315m<sup>3</sup>(2.0%削減)

① 生活利用水は、垂れ流しを止め、こまめに止水する。	通年	○	○	○
----------------------------	----	---	---	---

##### (4) グリーン商品購入の推進

① コピー用紙、事務用品等グリーン商品の購入を推進する。	通年	○	○	○
------------------------------	----	---	---	---

##### (5) 社内起因不適合製品の削減

目標値:平成28年度実績50件(本社23件+松戸27件) ⇒ 45件(10.0%削減)

① 社内起因の不適合製品を削減すること。	通年	○	○	○
----------------------	----	---	---	---



## IV章 環境活動の取り組み結果とその評価

### 1. 平成28年度の活動結果の評価

#### A. 総エネルギー投入量(購入電力) <Kg-CO<sub>2</sub>/売上高 単位:百万円>

	基準年 H27年実績	目標値基準 年×99%	平成28年 実績	比較増減	判定	環境活動の取り組みの評価
全社	150.2	148.7	147.7	1.7%減少	○	全社では目標達成できました。 本社では室温管理の徹底等で大きく削減 できました。七尾支店は増減なし、松戸支店は エアコン稼働日数が多くなったため、増加し ました。今後も削減に努めること。
本社	319.2	316.0	284.7	10.8%減少	○	
七尾支店	13.4	13.3	13.4	増減なし	×	
松戸支店	119.4	118.2	125.8	5.4%増加	×	

#### B. 総エネルギー投入量(化石燃料) <Kg-CO<sub>2</sub>/売上高 単位:百万円>

	基準年 H27年実績	目標値基準 年×99%	平成28年 実績	比較増減	判定	環境活動の取り組みの評価
全社	34.2	33.9	31.0	9.4%減少	○	全社では目標を達成できた。 全社でエコドライブ等の活動に努めたことで 目標を達成できたことは評価できる。七尾支 店では若干増加したものの、本社と松戸支店 では大きく削減できた。 現状の取り組みを続けること。
本社	63.2	62.6	51.5	18.5%減少	○	
七尾支店	43.7	43.3	43.8	0.2%増加	×	
松戸支店	16.2	16.0	14.3	11.7%減少	○	

#### C. 温室効果ガス総排出量 <Kg-CO<sub>2</sub>/売上高 単位:百万円>

	基準年 H27年実績	目標値基準 年×99%	平成28年 実績	比較増減	判定	環境活動の取り組みの評価
全社	184.37	182.50	178.63	3.1%減少	○	基準年H27年度二酸化炭素排出係数(本社& 七尾が0.630、松戸0.530で算出。
本社	382.36	378.50	336.23	12.1%減少	○	
七尾支店	57.09	56.50	57.16	0.1%増加	×	
松戸支店	135.55	134.20	140.13	3.4%増加	×	

#### D. 廃棄物等総排出量 <t/売上高 単位:百万円>

	基準年 H27年実績	目標値基準 年×99%	平成28年 実績	比較増減	判定	環境活動の取り組みの評価
全社	0.075	0.075	0.08	6.7%増加	×	本社では目標達成できたが、七尾支店と松 戸支店では排出量が増加しました。排出時 の分別等削減に努めること。
本社	0.065	0.064	0.062	4.6%減少	○	
七尾支店	0.025	0.024	0.029	16.0%増加	×	
松戸支店	0.100	0.099	0.11	10.0%増加	×	

#### E. 水資源投入量の削減 <実使用量: m<sup>3</sup>>

	基準年 H27年実績	目標値基準 年×99%	平成28年 実績	比較増減	判定
全社	1,342	1,329	1,371	2.2%増加	×

F. グリーン商品購入の推進 …… 1年間を通じて購入推進できた。

G. 化学物質の使用はありません。

#### H. 社内起因不適合製品の削減 <発生件数>

	H27年実績	目標値基準 年×90%	平成28年 実績	比較増減	判定
全社	70	63	50	28.6%減少	○

※中期目標(3年)は平成27年度の実績を100%基準として、平成28年度99%、平成29年度98%、平成30年度97%です。(Hは昨年対比とする)

## 2. 平成28年度の活動結果と過去2年間との比較

### 0. 環境への負荷の実績

< 全社 >

平成28年度実績と過去2年間との比較

活動規模	単位	平成28年	平成27年	平成26年
売上高	百万円	3,287	3,069	3,012
温室効果ガス排出量(購入電力)	Kg-CO <sub>2</sub>	485,349	460,844	465,072
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	147.7	150.2	154.4
温室効果ガス排出量(化石燃料)	Kg-CO <sub>2</sub>	101,805	104,989	104,539
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	31.0	34.2	34.7
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	587,155	565,833	569,611
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	178.63	184.37	189.11
産業廃棄物総排出量	t	261.9	231.5	232.3
売上高当たり	t/百万円	0.080	0.075	0.077

< 本社 >

平成28年度実績と過去2年間との比較

活動規模	単位	平成28年	平成27年	平成26年
売上高	百万円	933	808	879
温室効果ガス排出量(購入電力)	Kg-CO <sub>2</sub>	265,617	257,909	253,952
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	284.7	319.2	288.9
温室効果ガス排出量(化石燃料)	Kg-CO <sub>2</sub>	48,085	51,038	53,801
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	51.5	63.2	61.2
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	313,702	308,947	307,753
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	336.23	382.36	350.12
産業廃棄物総排出量	t	58.1	52.6	56.4
売上高当たり	t/百万円	0.062	0.065	0.064

< 七尾支店 >

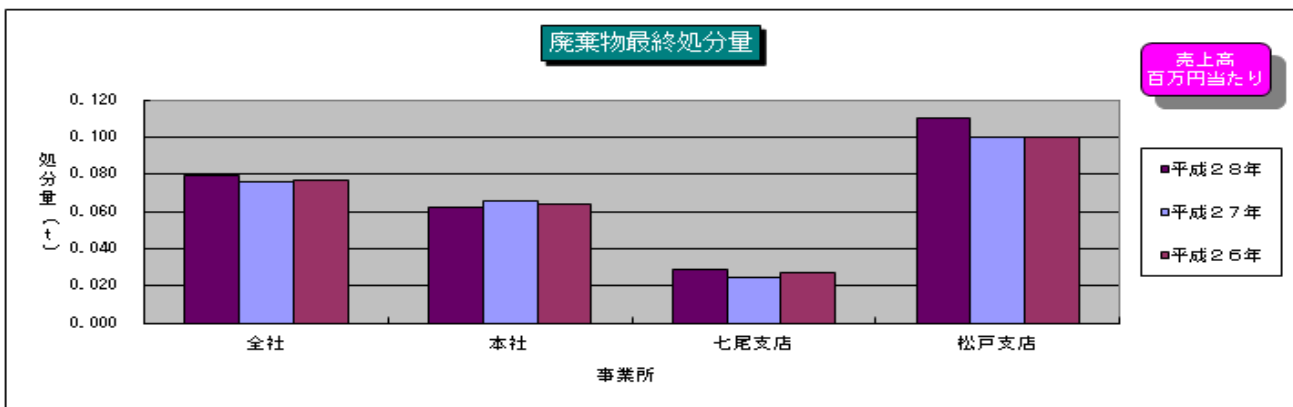
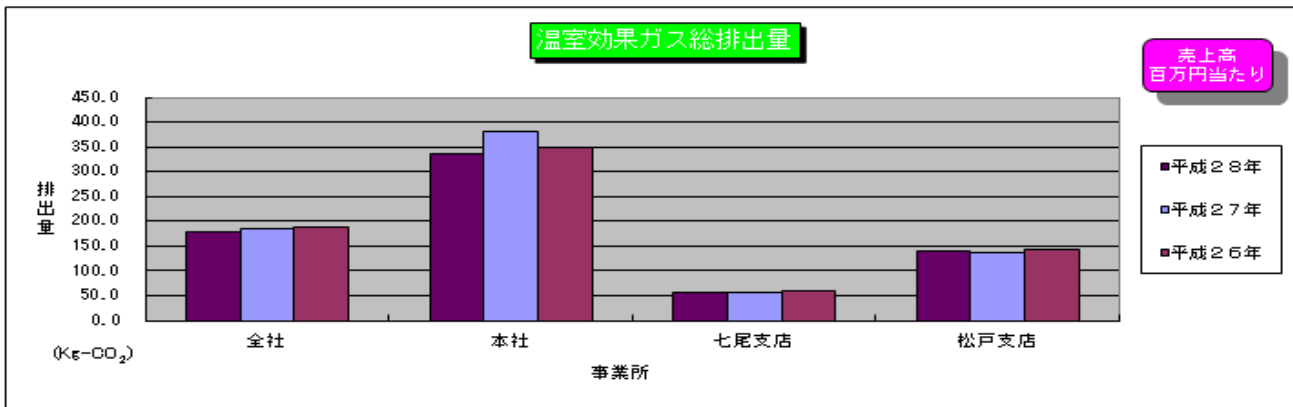
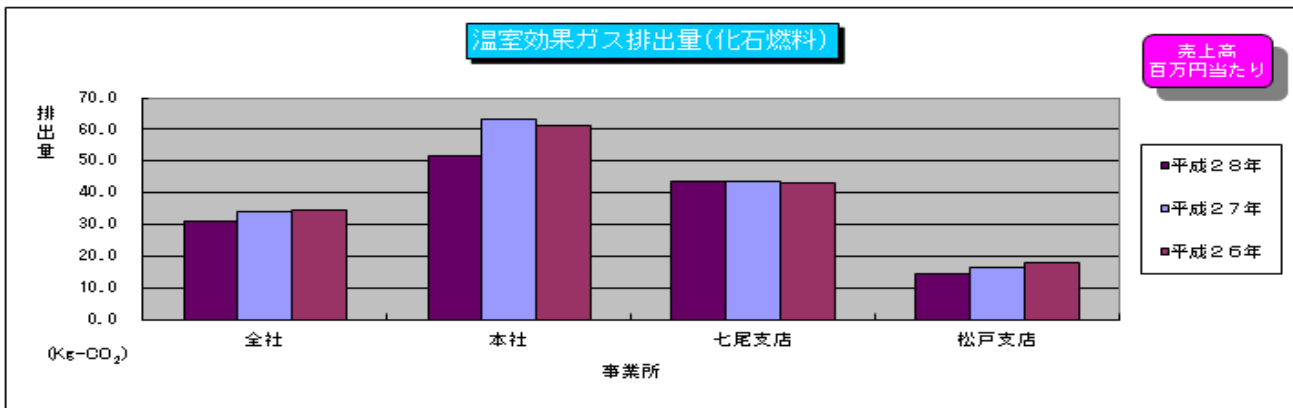
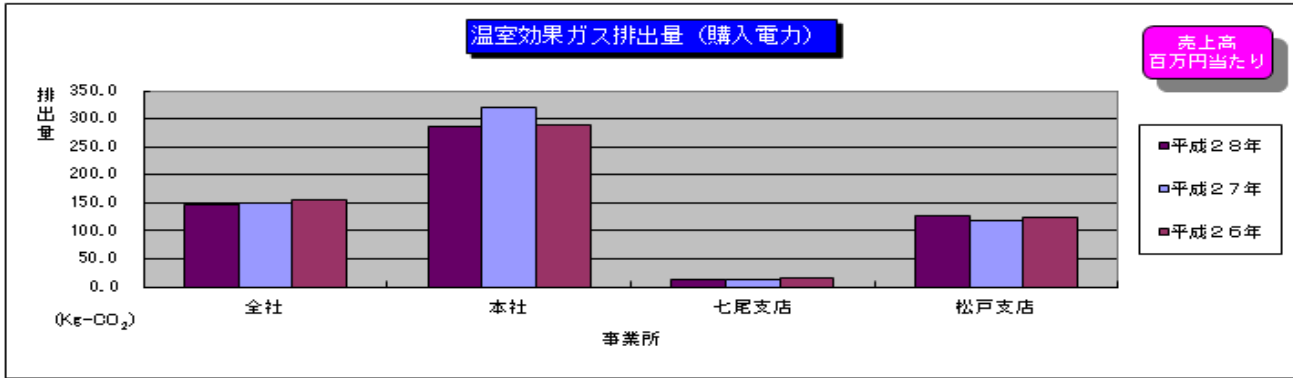
平成28年度実績と過去2年間との比較

活動規模	単位	平成28年	平成27年	平成26年
売上高	百万円	680	632	506
温室効果ガス排出量(購入電力)	Kg-CO <sub>2</sub>	9,098	8,475	8,167
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	13.4	13.4	16.1
温室効果ガス排出量(化石燃料)	Kg-CO <sub>2</sub>	29,771	27,604	21,793
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	43.8	43.7	43.1
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	38,870	36,078	29,960
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	57.16	57.09	59.21
産業廃棄物総排出量	t	19.5	15.7	13.6
売上高当たり	t/百万円	0.029	0.025	0.027

< 松戸支店 >

平成28年度実績と過去2年間との比較

活動規模	単位	平成28年	平成27年	平成26年
売上高	百万円	1,674	1,629	1,627
温室効果ガス排出量(購入電力)	Kg-CO <sub>2</sub>	210,634	194,460	202,953
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	125.8	119.4	124.7
温室効果ガス排出量(化石燃料)	Kg-CO <sub>2</sub>	23,949	26,348	28,945
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	14.3	16.2	17.8
温室効果ガス総排出量	Kg-CO <sub>2</sub>	234,583	220,808	231,898
売上高当たり	Kg-CO <sub>2</sub> /百万円	140.13	135.55	142.53
産業廃棄物総排出量	t	184.3	163.2	162.3
売上高当たり	t/百万円	0.110	0.100	0.100



### 3. 次年度の取組内容

次年度は平成 27 年度を基準年として、基準年に対して 2.0%削減を目標としています。中期目標は 3 年で 3%削減の目標に設定し、目標達成に向けて環境活動を推進していきます。

「グリーン商品購入の推進」についても継続して積極的に購入推進していきます。

今年度より「社内起因不適合製品の削減」を新たに基本方針に加え、環境目標としては基準年に対して 10%の削減としましたが、28.6%の削減と大きく削減することができました。

次年度は、今年度に対して 10%の削減目標とします。

## V章 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等については、遵守状況点検の結果、問題ないことを確認しました。また、関係機関、近隣住民からの指摘、違反、訴訟などは、1件もありませんでした。

## VI章 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度は購入電力、化石燃料は削減できましたが、廃棄物排出量の削減が思うようにできませんでした。オーバーロスや製袋不良等の社内製造過程での不適合製品の発生を減少させ、廃棄物排出量の削減ができるよう再度努力していきます。また、グリーン商品の購入についても引き続き購入を推進していきます。

次年度も全従業員で目標達成に向けて環境活動に取り組んでいきます。